

第54期 報告書

2015年4月1日 ~ 2016年3月31日

HEPHAIST®

それは価値を創造する個性ある集団です。



第55期経営方針

『breakthrough 有効性の検証』

代表取締役社長 尾崎浩太

皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当社第54期報告書をお届けするにあたり、平素のご支援を深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による成長戦略や日銀による金融緩和のもと、企業収益が改善する中で設備投資も増加基調にあり、全体として景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、中国をはじめとする新興国経済の減速や円高の進行による影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、営業・技術・製造の三位一体体制の機動力を生かし、顧客ニーズに応える応用製品の開発及び販売を進めるとともに、生産性の向上・原価低減等、収益の改善に取り組んで参りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、精密部品加工の売上高が増加し、1,628,357千円（前連結会計年度比15.3%増）となりました。利益面につきましては、経常利益は55,777千円（前連結会計年度比124.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は32,705千円（前連結会計年度比372.7%増）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、産業用機械業界向けの販売に加え、新製品の販売及び民生向けに販売を進めたことにより、当連結会計年度の売上高は1,053,742千円（前連結会計年度比4.5%増）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品の売上が増加し、売上高は453,447千円（前連結会計年度比54.3%増）となりました。

ユニット製品につきましては、電子部品業界及び液晶製造装置向けに販売を進め、売上高は121,167千円（前連結会計年度比9.9%増）となりました。

次期の見通しにつきましては、中国経済の減速に端を発した世界的な景気減速への懸念や、アメリカの金融政策を背景としたアジア通貨の動向、乱高下する為替市場の動向などリスク要因はありますが、緩やかながらも回復基調は維持されるものと考えております。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高1,667百万円（前期比2.4%増）、営業利益87百万円（前期比30.4%増）、経常利益83百万円（前期比50.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益56百万円（前期比74.0%増）を見込んでおります。

当社グループの業績は主要市場である産業用機械業界、電子部品業界及び自動車関連業界等の国内・海外における設備投資の動向に大きく影響を受けております。

当社グループは、このような事業環境の中で、受注確保を第一の課題と認識し、顧客満足度の向上のため、営業・技術・製造の三位一体体制の更なる強化による顧客対応力の向上、QCDの追求による製品力の向上、固定費・変動費の削減等を強力に推し進め、収益の向上及び経営基盤の強化に努めて参ります。

重点方針は以下のとおりであります。

- ① 生産能力増強とコストダウンによる採算性向上
- ② QCDの徹底追求による顧客対応力の強化
- ③ 顧客ニーズに適合した応用製品の開発と販売
- ④ 主力製品リニアボールブッシュの競争力強化による拡販
- ⑤ 提案型技術営業による新規顧客開拓
- ⑥ 海外販売展開の構築・強化
- ⑦ 従業員の上昇志向と能力の向上

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当を行うことを基本方針としております。

この方針のもと、第54期の配当につきましては、平成21年3月期以来7期ぶりの復配となる1株当たり1円の配当を実施させていただくこととなりました。

第55期の配当金につきましては、1株当たり年間1円を実施する予定です。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

2016年6月

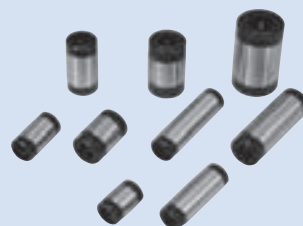
新製品情報

UTBシリーズ

次世代型リニアボールブッシュUTB (Utility Track Ball) シリーズにスリムタイプとロングタイプラインアップ!

【特長】

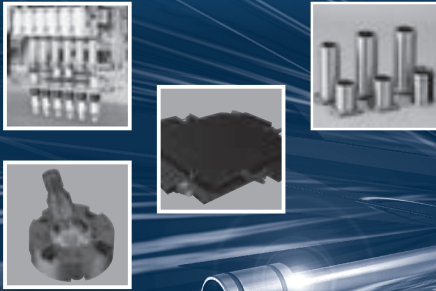
- 製品設計と製造工程を見直し低価格化を実現
 - 軸剛性を保ちながら外径サイズダウン実現により省スペース、軽量化に対応
- ※従来のスベリ軸受のみ搭載可能であった限られたスペース内にも転がり軸受の搭載が可能



TOPICS

事業概要

当社は、1962年（昭和37年）の設立以来、リニアボールブッシュの専門メーカーとして、常に新しいテクノロジーを追求し、多様化するニーズに応えるべき技術力と創造力により高品質・高付加価値製品を提供して参りました。これからも長年蓄積した固有技術を活かし、事業の柱となるリニアボールブッシュなどの直動機器、精密部品加工及びポジショニングステージなどのユニット製品の3つの事業領域を中心に新たな分野へ挑戦し、企業価値の拡大を目指して参ります。



連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	54期 平成28年3月31日	53期(ご参考) 平成27年3月31日
資産の部		
流動資産	2,109,445	2,190,835
固定資産	1,984,373	2,000,818
有形固定資産	1,880,364	1,921,500
無形固定資産	11,446	2,841
投資その他の資産	92,562	76,476
資産合計	4,093,818	4,191,654
負債の部		
流動負債	588,939	595,002
固定負債	474,711	596,318
負債合計	1,063,650	1,191,320
純資産の部		
株主資本	3,020,261	2,987,773
その他の包括利益累計額	9,906	12,560
純資産合計	3,030,167	3,000,334
負債純資産合計	4,093,818	4,191,654

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	54期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	53期(ご参考) 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	1,628,357	1,412,087
売上原価	1,151,358	997,820
売上総利益	476,999	414,266
販売費及び一般管理費	409,913	416,398
営業利益又は営業損失(△)	67,085	△ 2,131
営業外収益	8,459	33,610
営業外費用	19,767	6,682
経常利益	55,777	24,796
特別利益	134	370
特別損失	445	36
税金等調整前当期純利益	55,466	25,130
法人税、住民税及び事業税	27,918	15,387
法人税等調整額	△ 5,158	2,823
親会社株主に帰属する当期純利益	32,705	6,919

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	54期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	53期(ご参考) 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	182,427	108,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 68,932	△ 31,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 179,307	△ 26,628
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,047	1,405
現金及び現金同等物の増減額	△ 66,859	51,693
現金及び現金同等物の期首残高	811,812	760,119
現金及び現金同等物の期末残高	744,952	811,812

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

54期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	717,495	664,455	1,606,072	△ 249	2,987,773
当期変動額					
親会社株主に 帰属する当期純利益			32,705		32,705
自己株式の取得				△ 218	△ 218
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	32,705	△ 218	32,487
当期末残高	717,495	664,455	1,638,778	△ 467	3,020,261

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	983	11,576	12,560	3,000,334
当期変動額				
親会社株主に 帰属する当期純利益				32,705
自己株式の取得				△ 218
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△ 1,144	△ 1,509	△ 2,653	△ 2,653
当期変動額合計	△ 1,144	△ 1,509	△ 2,653	29,833
当期末残高	△ 160	10,067	9,906	3,030,167

連結貸借対照表のポイント

資産の部

売上債権は前期と比べ57,374千円増加し、また、たな卸資産が94,880千円減少しました。設備投資の総額は63,389千円となりました。

負債の部

仕入債務は前期と比べ28,166千円減少しました。

純資産の部

利益剰余金は前期と比べ32,705千円増加しました。

連結損益計算書のポイント

販売費及び一般管理費の研究開発費は31,160千円となりました。営業外収益に補助金収入7,869千円を計上しました。営業外費用に為替差損13,611千円を計上しました。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

- ① 税引前当期純利益の増加に加え、たな卸資産の減少により資金が増加しています。
- ② 固定資産の取得により資金が減少しています。
- ③ 借入金の返済により資金が減少しています。

連結株主資本等変動計算書のポイント

純資産の増加は、利益剰余金の増加によるものです。

株式の状況

株式の状況 (2016年3月31日現在)

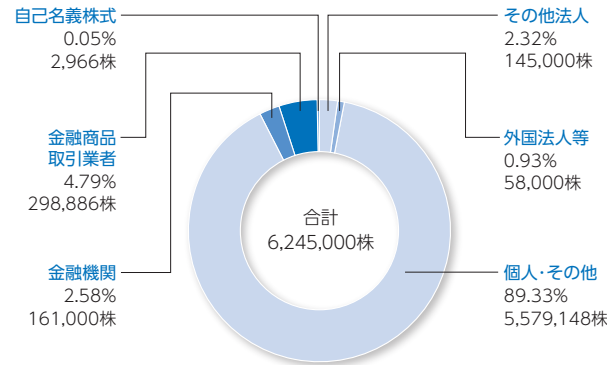
会社が発行する株式の総数 18,720,000株
発行済株式の総数 6,245,000株

大株主 (2016年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
尾崎 浩太	1,123	17.98
尾崎 文彦	1,021	16.34
尾崎 久壽彌	694	11.12
日本証券金融株式会社	161	2.57
株式会社SBI証券	122	1.95
榑原 潤	103	1.64
金井 俊和	67	1.07
高水 永夫	59	0.94
ヒーハイト精工社員持株会	51	0.81
羽根田 良三	50	0.80

持株比率は自己株式 (2,966株) を控除せずに計算しております。

所有者別株式数 (2016年3月31日現在)



第54期定時株主総会に関するご報告

平成28年6月28日開催の第54期定時株主総会における報告内容及び決議内容は、下記のとおりです。

記

報告事項

第54期 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決されました。
期末配当金は、1株につき1円となります。

第2号議案 取締役4名選任の件

本件は、原案どおり取締役として尾崎浩太氏、尾崎文彦氏、福留弘人氏、天野雅人氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案どおり監査役として上條弘氏が選任され、就任いたしました。

第54期期末配当金のお支払いについて
本総会の決議により、第54期期末配当金は1株につき1円と決定いたしました。

1. 口座振込をご指定いただいている株主様は、同封の「第54期期末配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」によりご確認ください。

株式数比例配分方式を選択されている株主様の配当金のお振込先につきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

2. 口座振込をご指定いただいていない株主様は、同封の「第54期期末配当金領収証」により、払渡期間中 (平成28年6月29日～平成28年7月29日) に最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で配当金をお受取りください。

会社の概要

会社の概要 (2016年3月31日現在)

社 名 ヒーハイト精工株式会社

本 社 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1

埼玉工場 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1
[敷地面積16,677㎡ 建物面積7,589㎡]
TEL 049-273-7000 (代表)
FAX 049-273-7001

秋田工場 〒010-1653 秋田県秋田市豊岩小山字下田454番地
(豊岩工業団地内)
[敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡]
TEL 018-828-0111
FAX 018-828-1192

海 外 赫菲(上海)軸承商贸有限公司 (中華人民共和国)

設 立 1962年 (昭和37年) 7月19日

資 本 金 717,495,000円

従 業 員 78人

役員 (2016年6月28日現在)

代表取締役社長	尾崎 浩太
専務取締役	尾崎 文彦
常務取締役	福留 弘人
取締役 (社外)	天野 雅人
常勤監査役	荒井 寿晃
監査役 (社外)	上條 弘
監査役 (社外)	菅野 浩正

執行役員	菜花 有三
執行役員	佐々木 宏行

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

期末配当金受領株主確定日 3月31日 (中間配当を行う場合、毎年9月30日)

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号

電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

上場金融証券取引所 東京証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)

証券コード 6433

単元株式数 1,000株

公告の方法 電子公告の方法により行う。

公告掲載URL <http://www.hephaist.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【株式会社のお手続きに関するお問い合わせ】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレホンセンター
(東京) フリーダイヤル 0120-232-711
(大阪) フリーダイヤル 0120-094-777
受付時間: 土・日・祝祭日を除く 平日9:00～17:00

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

* 本誌には、ヒーハイト精工の将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることに留意ください。

以上